

診療局：放射線科

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
中央放射線部長兼部長 兼放射線治療センター長	稲場 文隆 (7月入職)
医 長	中田 耕平 (7月入職)
非常勤医師	足立 至
非常勤医師	堀 篤史

—概要—

当科では一般撮影検査、マンモグラフィ、消化管造影検査、X線CT検査、磁気共鳴断層(MRI)検査、血管造影検査、核医学(RI)検査など画像診断全般を行っている。また、IVR(Intervental Radiology)も行っている。

近隣の医療機関からの依頼に対しては、CD-Rあるいはフィルムにて画像出力を行い、所見とともに返信している。

診療規模からすれば全く不足していることに変わりはないが、2017年7月からこれまでの常勤医1名から2名の体制となっている。

診断を担当している2名の常勤医、2名の非常勤医はすべて放射線診断専門医である。

【機器構成】

一般撮影装置	4台
乳房撮影装置	1台
X線テレビ装置	3台
骨塩定量装置	1台
CT撮影装置	2台 (64列、16列)
MRI検査装置	2台 (3T、1.5T)
血管撮影装置	2台 (パイプライン、IVR-CT)
核医学検査装置	1台 (SPECT)

【放射線科関連情報システム】

放射線情報システム(RIS) (富士フィルム)
統合画像管理システム(PACS) (横河医療ソリューションズ)
放射線レポート管理・配信システム (横河医療ソリューションズ)
ネットワーク型3次元画像処理システム(ZIO)

—実績—

読影総件数は、26,718件であった。

	2017年4~6月	7~9月	10~12月	2018年1~3月	計
CT	2,892	3,743	4,176	3,830	14,641
MR	1,246	1,497	1,571	1,454	5,768
IVR・血管造影	5	2	3	3	13
単純(除く乳腺)	306	286	319	358	1,269
乳腺	151	261	276	271	959
RI	328	280	324	337	1,269
他院読影	618	707	743	731	2,799
計	5,546	6,776	7,412	6,984	26,718

—今年度の成果と反省点—

当科医師は7月から新任常勤医師2人体制となったのであるが、診療の維持が最優先であったので、様々な問題点を認識しつつも、改善にまでは手が回らない状況であった。

—来年度への抱負—

地域中核病院の中央診断部門の主科として、標準的な診療を提供できるような体制作りを努めていきたい。